

「6M問題解決法」「6Mなぜなぜ分析」活用による 品質問題解決力強化セミナー

日時 2023年1月19日(木) 10:00~17:00
会場 東京・赤坂近辺の会議室
講師 西沢技術士事務所 所長 西沢和夫氏

オンライン受講
できます

品質問題をスピーディに解決し、現状を打破するための最強の実践法は

「6M問題解決法」で重要テーマについて真の問題解決を行い

「6Mなぜなぜ分析」で個別現場問題を根本解決することです。

多くの現場で効果を上げていた「なぜなぜ分析」ですが、昨今ではどのように実践したらよいのかが分からずに多くの企業が困っています。

本セミナーでは、講師が長年の実践指導から生み出した「6M問題解決法」と「6Mなぜなぜ分析」を習得するための問題解決の具体的な進め方について、実施事例をもとに分かり易く解説します。

品質問題の着眼点は

6M

- ① 人
- ② 設備
- ③ 材料
- ④ 方法
- ⑤ 管理
- ⑥ 計測・観察

I 品質問題の再発はなぜ防止できないのか

1. 品質問題とは何か
2. 品質問題解決のアイデア開発法

II 問題解決力強化のために何にどう取り組むべきか

1. なぜ問題解決をうまくできないのか
2. 問題解決力を強化するための要件とは何か
3. 真の問題解決の基本4ステップ
4. 問題解決の個別ステップの考え方・進め方

III 「6M問題解決法」習得と「6Mなぜなぜ分析」の効果的な実践法

1. 品質問題解決の着眼点は6Mだ!
2. QCアプローチから6M特性要因図への展開
3. 「6M問題解決法」の実施企業例紹介
4. 個別問題を解決する「6Mなぜなぜ分析」の進め方
5. 「6Mなぜなぜ分析」の事例演習
6. 問題解決の実践ツールの紹介

IV PAF法による品質コスト改善の実践法

1. 品質コスト改善をどう進めればよいのか
2. PAF法による品質コスト改善の実践展開法

展開事例とすぐに活用できる実践シートで 品質問題を即解決！

GM特性要因図からなぜなぜ分析への展開事例

「なぜなぜ」1: 全的方法がない → 点検・保全方法を教えていない → 点検・保全方法の指導致えていない → 点検・保全方法の指導致えていない → 点検・保全方法を標準化していない → 標準化する方法がない

「なぜなぜ」2: 具体的 → SWZHが明確に設定されていない → 対策を立てる責任と手法が不明確 → 品質保証と責任が → 対策を → 対策を

「問題解決実施計画・実績管理表」

グループ名	品証チーム	作成日	承認
所属部門	品質保証課	登録日	
文書No	EOC-001-00	登録No	EOC-01
取組テーマ	メインテーマ：顧客流出不良50%削減を目指す サブテーマ：品質保証体制の見直しと新たな体制作り		
取組理由	昨年度の活動において顧客流出クレームが減少出来なかったため、体制面の対策・見直しにより流出不良を削減させる		
取組目標	「顧客流出クレーム50%減」		
活動計画	上段 計画(←)	下段 実績(→)	予定効果
	1週間単位でスケジュールを記入する		A社：13件、B社：39.5件 C社：26.5件、その他：3.0

GM なぜなぜ分析シート

製品名	発生場所	No	発生頻度
製品No	作業者	1M	作業者の
ロットNo	発生日	2M	作業方
機械no	発生個数	3M	作業標
発生回数	発生頻度	4M	設備
重要度	重要性	5M	材料
不良コスト	不良コスト	6M	検

不良現象(図を入れ) 調査内容(三現主義) 結果 なぜなぜ① なぜなぜ② なぜなぜ③

《講師紹介》

西沢 和夫 氏

米国系産業機械製造メーカーに入社後、マーケティング、新製品開発、生産管理、品質保証、生産技術、技術サービス等を担当し、国内海外多数の取引企業の技術・品質指導を実施。その後、コンサルタントファームのチーフコンサルタントとして、本物の5S、見える化、品質保証、生産改善、生産改革、管理監督者育成、問題解決力等のコンサルティング指導により効果を上げた。

その後、西沢技術士事務所を開設し、今日に至る。技術士(経営工学部門)、中小企業診断士、経営士、品質管理学会正会員。

[著書]「工場長のための実践！生産現場改革」「よくわかるこれからの生産現場改革」(同文館出版)
「生産管理ハンドブック」「5S導入ハンドブック」「リーダー力強化ハンドブック」(かんき出版)
「QC工程表と作業標準書」「儲かる生産現場強化マニュアル」(日刊工業新聞社)など多数

◆参加費◆ 会員：39,600円 一般：52,800円 日本生産性本部 賛助会員：46,200円
(1名分・税込み) *他地区IE協会の会員も会員価格となります

◆申込方法◆ ① ホームページに必要事項をご記入の上、お申し込みください。
https://www.j-ie.com/seminar/koukai_kouza/DL51/
Eメールでも受付めますので、必要事項を明記の上お申し込みください。
② 研修日の2週間前に、参加証(会場地図付き)と請求書を送付いたします。
③ ご都合が悪くなった場合は、代理の方をご派遣ください。
*研修日の7日前からキャンセル料を申し受けます。あらかじめご了承ください。



◆申込先◆
JIE

日本IE協会(略称) 担当：島田、手呂内 TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069
ホームページ <https://www.j-ie.com/> Eメール jiie@j-ie.com
〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12